

日吉台地下壕保存の会

会報

第27号

発行 日吉台地下壕保存の会

編集 事務局

223 横浜市港北区下田町3-15-27

寺田方 TEL.045-562-1282

(年会費) 一口千円で、一口以上

郵便振込(口座番号)横浜 5-74921

(加入者名)日吉台地下壕保存の会



第二回平和のための戦争展会場風景

岡上 そう画



目 次	ページ
「保存」のために	2
「平和のための戦争展」特集	3
報告とお礼	3
高校生の立場から平和展に	3
参加して	3
アンケート(感想)集	4、5
経過とあらまし	6
連載日吉台地下壕	
当時の関係者の思い出話	7
幹事会報告	8
お知らせ	8

「保存」のために

幹事 小園 優子

二〇年ぶりの大雪というハ

ブニングもありながら、大倉山記念館での戦争展は、マスコミ報道と市の後援もついたことが幸いしたのか、最終的には一八五〇人もの人々が入場しました。

この意外な入場者数は、この神奈川の地にかつて大がかりな陸軍の謀略・諜報基地が存在していた事や、今も残っている海軍の司令部地下壕に、関心を寄せる人がたくさんいることを示しているのではないか。

また地下壕見学者の感想文を読むとたいていの人々が、戦争中の日本の有り様に心を馳せ、現在の平和を考える大事な遺構としては是非とも保存すべきだとの思いをつづっています。神奈川県でも根岸線・

ます。

ところで、私たち保存の会の総会も近くなつてしまいりました。先号の会報で会長が「今年の目標」と題して「保存」という共通の目標は現在まで、どれだけ達成できたのだろうか・・・。今年は保存のために何が出来るのか」と会員一同にシビアな提案をなさつております。

会も発足して五年、保存の目的は思うように進展していないのが現状です。私たちもこれまで、どこをどう叩いたら扉がうまく開かれるのか手さぐりの状態でしたが、今年は何とかこの扉を開ける手がかりをつかみたいと思います。

来年は敗戦五十周年を迎えます。神奈川県でも根岸線・



本郷台の駅前に平和博物館の機能をもつ「地球市民かながわプラザ」(仮称)の基本計画が策定中であり、一九九六年には開館の予定といわれています。また横浜市でも港北ニュータウンに九五年開館の歴史博物館建設計画が進行しています。現在、国立の平和祈念館について論議のある中で、これらの計画内容についても関心を抱かなければなりませんが、その膨大な建設予算のほんの一部分を日吉台地下壕の保存にさいてもうら運動などできないものであります。それにもしても、地下壕は慶應大学の日吉の地下に眠つてゐるのです。まずは大学当局との話し合いがもたれています。この話し合いをさらに推進していくために、大学内の心ある人々に声をかけて賛同者、協力者を増やし、また大学当局の関係者や県・市の関係者の方々にも地下壕に入つてもらい、理解を深めていただく。さらに一昨年、地下壕にご案内した国会議員を含めた日吉台地下壕問題調査団の方々にも協力いただくことが、少しすつでも輪を広げる努力をしていきたいと思います。鰐島会長や寺田事務局長を中心には幹事や会員一同が力を大いに發揮して、内からと外からと保存の実現に取り組んでいこうではありませんか。

平和のための戦争展特集

「第二回平和のための戦争展」

報生口とお詫

実行委員長 龍崎 敏子

大倉山記念館のギャラリー

は、内装も照明もこの戦争展の写真や展示品に実際にふさわしく、静かに熱心に観てゆく方々も含めて、一つの世界を

創り出していたように、私は思えました。講演もシンボジウムも盛況で、横浜に場所を移しての戦争展は、成功したと実行委員一同感激しております。これも皆様方、足を運んで下さった方と賛同金をお寄せ下さった方々のおかげです。

ジウムも盛況で、横浜に場所を移しての戦争展は、成功し

た高校生の立場から平和展に参加して

法政二高歴史

研究部部長 斎藤一晴

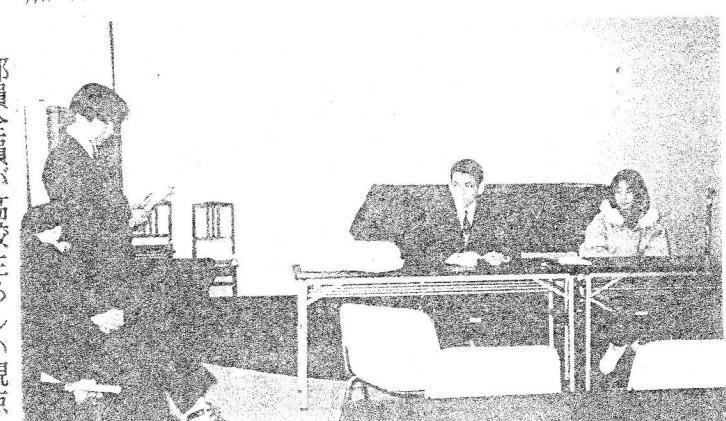
は、内装も照明もこの戦争展の写真や展示品に実際にふさわしく、静かに熱心に観てゆく方々も含めて、一つの世界を創り出していたように、私は思えました。講演もシンボジウムも盛況で、横浜に場所を移しての戦争展は、成功し

たと実行委員一同感激しておられます。これも皆様方、足を運んで下さった方と賛同金をお寄せ下さった方々のおかげです。

ビックシリと書かれた感想文からも、会場での短い会話か

らも、私たちの戦争展を通じて届けようとした願いが、各々の方に受け止めて頂けた事がわかりました。早速次回に向けて動き始めます。

多くの方に地下壕の存在を知つて頂く事、それが保存運動にもつながつていると考えるからです。



したものであつたと思う。

「平和のための戦争展」のような地域からの平和への活動は、他の諸外国に比べて遅れているうえ、今までの日本の歴史の中でもなかなか発展しなかつたものである。戦後半世紀が過ぎようとする今、高校生などの若者を中心とした地域に根ざした平和活動が必要であり、又そうすることが今後の日本とアジア諸国をはじめとする世界の国々とつきあうためにも不可欠なことであろうと感じた。

最後に、我々歴史研究部が平和展に参加するにあたり協力してくださった法政二高の会者という立場で参加し、討論会に参加してくれた人達と意見を交換したり、私達高校生がどのように平和学習を進めていくべきなのか等を話し合うことができ、とても充実思つ。

「平和のための

戦争展」

アンケート

(感想相談) 集

★大東亜戦争に至るまでの日本と世界との関係もわかり、大変よく整理された展覧会でした。

当時、戦争にならないための努力をする人たちは排除され、軍にすべての人たちが協力するよう組織されたのです。もし拒否していたなら、まともに生きて行けたでしょうか。戦争を進めた指導層の責任を強く問いたいと思います。

あれから五〇年もすぎ、現在の世の中は、日本ではどにもかくにも、戦争にならない努力がなされています。あの道をふたたび歩いてはなりません。

世界は、冷戦崩壊後、民族独

立の声があちこちで上がり、

戦火がたえません。貧富の差

が争いのもとになりますし、

一方では覇権主義もはびこります。人間の心の中が穏やかに、他の人と手をつなげるようになつていって欲しいもの

です。(六〇代女)

★もしも今に戦争がおこった

らと思ひ写真展をみていたが、本当に行つたらこわいと思う。

おじいさんも戦争について、たたかうというけいけんをして、生きてかえつてこれたか

らよかつた。

ここにおいてある物がおじい

さんの家にもありました。

(一〇代女)

★私は戦争をなにもしらなかつた。今日ここにきて戦争がどれだけいけないとかわかつた。ここにきてしゃしんをみて、いろいろわかつたよう

★あまり戦争のことは普段考

えていないけど、今の人達も

昔のことを見ると見て、考

えて、同じまちがいをおかさ

ないようにしていかなければ

いけないと思います。(一〇代女)

★地下壕の模型がすごくすば

らしい(一〇代男)

★沖縄戦や太平洋戦争につい

て学習してきましたが、まだ、

勉強不足と言う所があつたよ

うに思います。戦争の真実を

かたりつづけていかなくては

ならないのは、私達自身な

に、戦争についてまだわから

ない人が多くいます。ここへ

来て私はつたえなくてはなら

ないと思いました。(一五才男)

★あまり戦争の実感がわかな

い。だからこういう展示をみてもピントこないけど、これ

から私たち世代はどうしてい

★語る会と展示を見ました。各市町村をローラー作戦で、

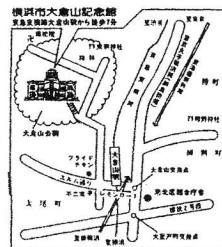
収支決算書

収入	支出
前回繰越金 43,965	場所代 33,400
ブレイバント参加費 40,000	事務通信費 78,543
賛同金 249,820	印刷費 28,021
資料代(カバ'合) 60,605	材料費 19,099
合計 394,390	謝礼 33,708
	交通費 37,940
	運営費 89,704
	合計 320,415
差引残高 73,975円	

(備考) 上記の他に賛同者への報告をまだしておりませんので、その印刷費と郵送料等の支払いが残っています。残金はこれから活動に有効に使う予定です。

日 時
2月 9日(水)
午前10時から
2月13日(日)
午後5時まで

場 所
横浜市大倉山記念館



主催：平和のための戦争展
実行委員会
後援：横浜市
後援：横浜市教育委員会
実施団体：
★日吉台地下壕保存の会
★川崎市中原平和教育学級
記録編集委員会
★川崎市中原平和人権尊重
学級企画委員会
連絡先：
★寺田貞治(045-562-1282)
★渡辺賢二(0462-34-4203)

平和のための戦争展示会

- 2月9日(木)～2月13日(日)
 - <展示>日吉台地下壕と登戸研究所を中心に戦争の実態をパネルなどで展示
 - ★ 1階・ギャラリー
- 2月12日(土)
 - <ビデオ上映>
 - 日吉台地下壕、登戸研究所、松代大本営、戦ふ少国民など
 - ★ 午前10時～12時半
 - ★ 3階・第2集会室
- <講演>
 - 日吉台地下壕：寺田貞治氏
 - 登戸研究所：渡辺賢二氏
 - 松代大本営：大日方悦夫氏
 - ★ 午後1時～4時
 - ★ 2階・ホール
- 2月13日(日)
 - <戦争体験者の話>
 - 中国大陸で被虐遊撃に携わった元軍人の話
 - 海軍警備隊で機須貢基地から日吉にきた元軍人の話
 - 登戸研究所にかかわった人の話
 - ★ 午前10時～12時半
 - ★ 1階・第10集会室
 - <シンポジウム>
 - 若者達の調査研究報告と討論
 - ★ 午後1時～4時
 - ★ 1階・第10集会室

●実施内容
●この展示はもつと知らせるべきだと思います。県内の各自治体が平和都市宣言をし平和事業をしていますので、その中身にもつていける可能性があるのでは。（四〇代男）

廻つてもらいたいと思いまし
た。多くの子供に伝えて行き
ます。（三〇代男）

★この展示はもつと知らせるべきだと思います。県内の各自治体が平和都市宣言をし平和事業をしていますので、その中身にもつていける可能性があるのでは。（四〇代男）

★法政二高の生徒さんの発表
にありましたが今まで被害
者の立場からの発表が多く
たと思います。加害者の立場
からの研究発表を興味深く見
学しました。（四〇代女）

★藤沢でも四月二十九～三〇日
に催しを準備中ですので、展
示に関心があり、ご努力に敬
意を表します。（六〇代女）

★地味な活動だと思いますが
決して忘れてはいけない記録
として折にふれて語り継ぐべき事と思います。

法政二高の歴史研究部のご努
力に頭が下がります。体験者
の高齢化にこのような若い方
々のサークルを知った事も今
日の大きな収穫です。頑張っ
て続けて下さい。（六〇代女）

★私もシベリヤ抑留をうけま
したが、その被害はむしろ當
然で日本の加害をもつと考え
るべきと思う。（七〇代男）

◆午後の開始時間はつきり
とし、食堂のないことも明記
して欲しい。

◆次ぎのような
◆撮影があり
ました。

◆午後の開始時間はつきり
とし、食堂のないことも明記
して欲しい。

◆主人は軍人でしたので話し
は聞いておりましたが、こん
な面も有つたのだと言う事を
しみじみ知りました。主人は
写真の前に立つて涙を流して
おります。（七〇代女）

★戦争を否定する、参加しな
い自由のなかつた日本の若者
の笑顔に涙します。（女）

◆戦時中の国民生活や学校の
状況を撮つた写真や資料があ
ればと思う。

◆年表の日付と自分の記憶の
違いがあるが。

◆表記の違い（柳条溝＝柳条
湖など）の簡単な説明がある
とよい。

「第二回平和のための戦争展」を

終つて

◆経過とあらまし

九三年六月二八日 幹事会

第二回平和のための戦争展

について検討

七月一四日 第一回打合せ会

八月二五日第二回実行委員会

九月一六日第三回同会

一〇月三一日第四回同会

一一月二五日第五回同会

一二月一六日第六回同会

九四年一月二一日第七回同会

*最終実行委員会として受付、

ホール 午後四〇名

(松代、登戸、日吉台の講演)

第六集会室午前四〇名

(日吉台などのビデオ)

プレイベント

一二月一二日旧陸軍登戸研究

所見学会

九四年一月二二日吉谷地下

同

(若者たちのシンポジウム)

午後三五名

（期間中の参加者の様子）

二月九日ギャラリー一五〇名

一〇日 同 一九二名

一一日 同 八一四名

一二日 同 一四二名

◇一一日（祝日）には、NHK

Kの放映を見た人がひきもき

らず、受付では自分の戦争体

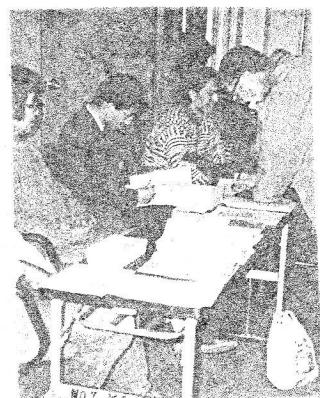
験を語る姿がみられた。

◇一二日（土）二〇年振りの大雪にもかかわらず熱心な人々が午前中からビデオを観賞し、午後は中央線一時不通の中を駆けつけて来られた大日方さんの松代大本営公開までのいきさつなどの話に耳を傾けた。

◆三月七日反省会

於日吉ブルーベア

◆報道関係



連載

日吉口ムロ地下壕
当時の関係者右の
田心い出説 4

日吉移転前後 4

前回お話をいたいた実松氏の下で情報の仕事をされたいた増井潔氏に、慶應予科校舎への移転と小泉塾長のお話を伺います。

増井 潔氏の話

(ききて：寺田貞治)

昭和一八年五月ごろ、軍令部第三部（情報部）第五課

（米国を担当）に三名の主計大尉が配属になつたが、二名は東大卒、一名は慶大卒の私であった。経済学部を一六年に卒業、一七年一月に海軍に主計中尉として入隊、四カ月の訓練を経て、巡洋艦「愛宕」に乗り、ミッドウェー やガダ

ルカナルの実戦を経た後、一
八年五月に軍令部第三部に転
勤になり、終戦まで実松氏の
下で情報の仕事をした。

ある時、第五課長の竹内大

佐に呼出され、第三部の日吉
移転について相談を受けた。

実松氏から「小泉信三塾長に
海軍の要望として、日吉の校

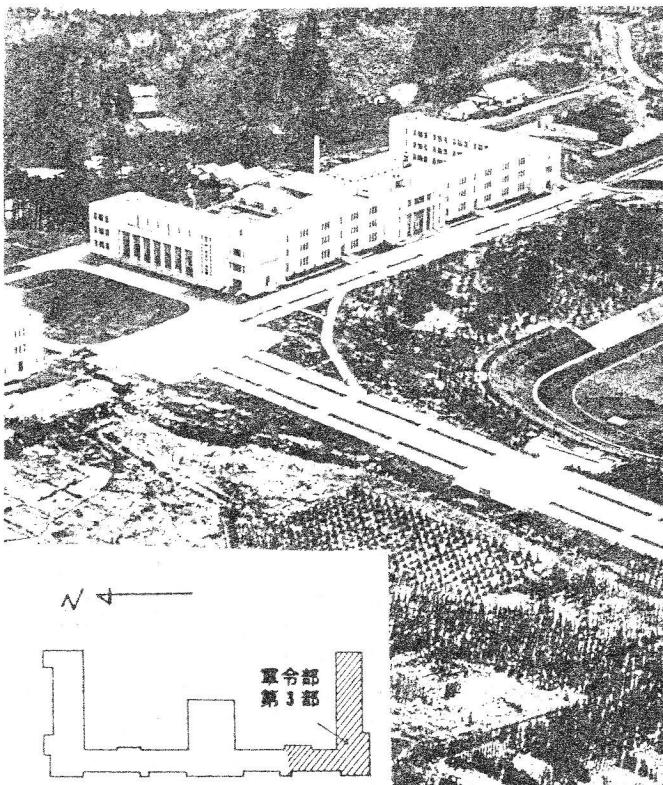
息子さんの信吉氏とは、慶應
で同期であった。彼は在学中
に海軍に志願したので、海軍
では私の一期上の七期であつ
てくださいました。私は小泉信三塾長の
息子さんと同姓同名で、海軍に入
るには、必ずしも海軍に入ること
でも移転したいことを伝えて
欲しい」と言う要望であった。

私は、私は小泉信三塾長の
息子さんと同姓同名で、海軍に入
るには、必ずしも海軍に入ること
でも移転したいことを伝えて
欲しい」と言う要望であった。
息子さんが海軍にいること
もあって、塾長は海軍びいき
であつた。

早速、小泉塾長に電話をす
ると、二つ返事で早く引受け
てくださいました。「海軍が利用
するなら異存はない。教務主
任に連絡しておくから、主任に
会つて細かい話をするよう
に」と言われ、早速、主任に
会い、予科の校舎（現在の高
校校舎）の南側の日当りのよ
いところを貸してもらうこと
になつた。事務的な手続きは
庶務課がやつた。

一九年二月はじめ、軍令部
第三部はすべて日吉に移転し
た。

（生協ニュース教職員版第四
一號より抜粋転載）



慶應義塾 125 年より

高校

第一〇回幹事会と報生口

一月一二日一七時半

慶應高校地学教室

報告

一、一二月一七日港北区区民

会議

第六八回紹介会の
お知らせ

日時：四月一六日（土）

午後二時半

場所：慶大日吉キャンパス
藤山記念館大会議室

（東横線日吉駅下車）

ビデオ上映：二時半、三時半

松代大本営、日吉台地下壕

など（上映順）

総会：三時半、四時半

◎一年一回の総会です。

みなさんのご意見、ご希望をお聞かせいただきたく、是非ご出席くださるようお願い申し上げます。

~~~~~

二、同一八日日吉台西側（大聖院裏）地下壕のパネル用

写真の撮影

三、同二四日戦争展のビラ作成

四、同二七日横浜市広聴課に

戦争展のビラの配布をお願いし、承諾を得る

五、同二七日大倉山記念館にて打合せと下見

六、同二九日蟹ヶ谷通信隊基

地跡と同地下壕見学会一五

名余参加（登戸関係者）

七、同二九日戦争展展示物作成と打合せ

八、二月三日戦争展展示物作成

三、会報第二七号発行について

第一回幹事会と報生口

二月二三日一七時半、  
日吉地区センター

第一回幹事会と報生口

二月二三日一七時半、  
日吉地区センター

第一回幹事会と報生口

二月二三日一七時半、  
日吉地区センター

第一回幹事会と報生口

二月二三日一七時半、  
日吉地区センター

て資料写真撮影（寺田、小池汪）

\*戦争展まとめ欄参照

二、終戦五〇周年（一九九五年）にむけて第三回戦争展

を企画してはどうか

\*場所は慶大日吉キャンパス

で出来ないか

\*五月二五日横浜大空襲の日

前後がよくはないか

三、運営委員会と総会開催について

七、同二九日戦争展展示物作成

\*日程などはお知らせ欄参照

\*役員になつて下さる方を積極的に探す

\*会員から希望を出して貰つたり、会報に投稿を呼びかける

\*会費はなるべく値上げを避けたい

九、同八日大倉山記念館に戦争展示物、搬入、展示

九日、一三日戦争展

一〇、同二六日新吉田小の先生方の日吉台地下壕見学会

予定

一一、同二七日登戸研究所の見学会予定

二、同二一日戦争展第七回実行委員会

三、同二五日福沢センターに

展について

四、日吉台地下壕オリジナルビデオ制作について

\*岡上さんより提案があり、若い人の力で、シナリオから撮影、編集まで、手作りでやつてみるとことになった